

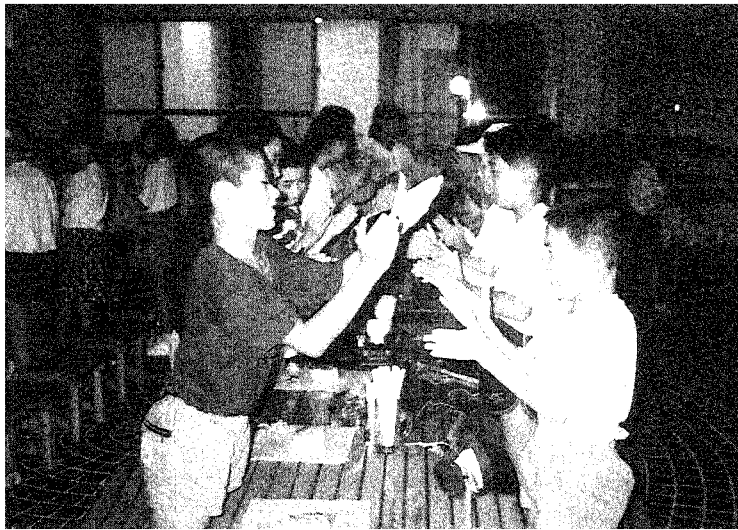
沖縄県西原町と かわらぬ友情を

『青少年ふれあいの旅』 一行が訪問

七月三十一日から八月三日までの日程で都倉市長を団長に、市内小・中学生三十名を含む『青少年ふれあいの旅』の一行三十八名が沖縄県西原町を訪問し、友情と信頼の絆を深めてきました。

昨年、西原町より『青少年ふれあいの旅』の一行五十八名が都留

市を訪れ、今年はそれに答える形の訪問となりました。出発日の三十一日は初めて飛行機に乗る子ども達が多く、あっという間に沖縄に着いて驚いたようでした。歓迎レセプションでは、地元舞踊の「谷茶前」・「子供エイサー」などが披露され、お礼に都留市の子



どもたちが「都留音頭」・「よっちゃばれ踊り」を踊って、地元の皆さんより大きな拍手を受けました。町の歴史についての講座では、第二次世界大戦での沖縄戦の話聞き、戦争の悲惨さを知り、平和の尊さを感じることができました。

翌日は沖縄海洋博記念公園の見学や、海水浴など地元の児童・生徒と一緒に行動し、万座ビーチでは、特別の計らいにより、グラスボートに乗って、サンゴ礁や色とりどりの魚を観察することもできました。その夜の交流会ではパーベキューに舌鼓を打ちながら、記念品の交換やゲームなどを楽しみ、ふれあいの目的を十分に達成することができました。



西原町役場前庭で

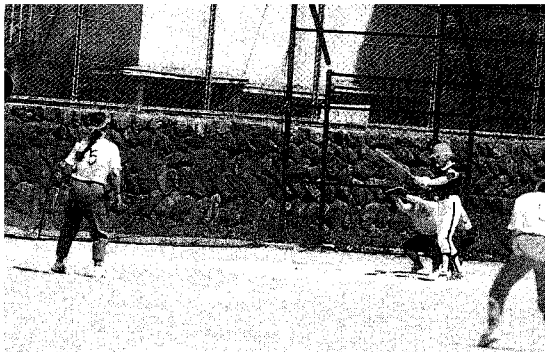
東桂地区体振が一連覇!! 第二十二回市体育祭り

七月二十一、二十二日の二日間に行われた、都留市体育祭りが、市内九地区対抗により、住吉球場他各会場で行われました。

二十一日の開会式は、各地区の体育振興会役員、選手など約六百名の参加を得て盛大に開かれ、あすなる職人会による「豊年太鼓」や花火も打ち上げられ、大会に花を添えました。

真夏の強い日ざしの中、地区の名譽をかけた約二千五百名の選手が十二種目十七種別に熱戦を繰り広げた結果、東桂体育振興会が二年連続の優勝を成し遂げました。

なお、開会式で都留市の体育発展に貢献された方々に贈られる体



女子ソフトボール試合

育功労者賞の授賞式も行われ、十二名の方々が受賞されました。大会の結果、ならびに受賞者は次のとおりです。

男女総合

優勝 東桂体育振興会

準優勝 禾生体育振興会

第三位 中谷体育振興会

男子総合

優勝 東桂体育振興会

準優勝 禾生体育振興会

第三位 中谷体育振興会

女子総合

優勝 東桂体育振興会

準優勝 禾生体育振興会

第三位 中谷体育振興会

都留市体育功労者賞受賞者

磯 定男(ゲートボール協会)

長田和男(卓球協会)

萱沼益夫(軟体連盟)

杉田 進(陸上競技協会)

田中 徹(ソフトボール協会)

田中君江(バレーボール協会)

中村 進(射撃協会)

二本柳幸久(開地体振)

前田 功(野球連盟)

水越勝明(東桂体振)

堀内幸男(ボウリング協会)

渡辺靖国(下谷体振)